

大方あかつき館20周年を祝う

大方あかつき館が開館20周年を迎えたことを祝し、10月5日(金)、ふるさと総合センターで記念事業が行われました。

記念事業は、世田谷ピンポンズによるコンサートで始まり、式典後、劇団the.創による上林暁作品の朗読と、園田学園女子大学名誉教授吉村桐さんと上林さんの孫・大熊平城さんによる文学トークが行われました。約400人が来場し、訪れた人は、「上林さんの作品がこんな歌になっていることを知らなかった。朗読は、映し出された町の風景とマッチして印象深かった。文学トークもとてもわかりやすかった」と話していました。

また、第13回黒潮町民大学の第1講座も同事業の一環として開講され、俳人として活躍する夏井いつきさんが、「俳句をつくる 町をつくる人をつくる」というテーマ



夏井いつきさんによる講義

で講演しました。夏井さんは、「松山では俳句だったが、地域文化が町をつくり人を育てる」と話し、同館の記念日に

祝福を表しました。

同館は、町の文化創造の拠点として1998年4月12日に開館し、町内の文化振興・発展に寄与してきました。館長の松本敏郎さんは、「大方あかつき館は名勝負野松原の真ん中にある。この類まれな環境を活かして、今後多くの人々に親しまれる文化の拠点施設として育てていきたい」と大方あかつき館の歴史を振り返り、今後のさらなる発展へ意気込みました。

大方あかつき館20年の歩み(略歴)

1998年 4月12日	複合文化施設「大方あかつき館」として開館
2002年10月 6日	上林暁生誕百周年記念事業・上林暁文学賞募集
2006年 3月20日	黒潮町誕生
2009年 1月 6日~3月31日	上林暁文学館開設10周年記念特別企画展(指定管理制度導入)
2013年 4月 1日	特定非営利活動法人NPOあかつきが指定管理者となる
2016年11月26日	「世界津波の日」高校生サミットin黒潮」の記念碑が同施設敷地内に建立
2018年10月 5日	大方あかつき館開館20周年記念事業実施

大方高校生ゴルフを体験

大方高校の生徒と教員16名が10月4日(木)、土佐ユートピアカントリークラブでプロによるゴルフ教室へ参加しました。

同教室は、黒潮町スポーツツーリズム(ゴルフ)実行委員会の企画によるもので、大方高校の1・2年生から希望者が参加しました。

同実行委員会の会長代理として出席した宮地憲さんからは「参加してくれた生徒の皆さんがゴルフを好きになってくれて、将来町内のゴルフ人口が増えたら嬉しい」と挨拶がありました。

生徒たちは、黒潮カントリークラブ所属の八木敦士プロから、クラブの握り方や目線の送り方、フォームなどを教わり、段々と遠くへボールが飛ぶようになると笑顔を見せていました。八木プロは、「ゴルフを楽しめると思うことで好きになる、好きになることで続けられるようになる。今日はそのきっかけとなれば」と話し、生徒たちに丁寧に指導をしました。



プロの指導を受ける生徒

られるようになる。今日はそのきっかけとなれば」と話し、生徒たちに丁寧に指導をしました。

第3回黒潮町民ゴルフ大会

「第3回黒潮町民ゴルフ大会」が10月6日(土)、土佐ユートピアカントリークラブで開催され、206人が参加しました。

同大会は、平成28年に始まって以来、毎年実施されているもので、「黒潮町とゴルフをこよなく愛する人」を対象に、黒潮町民ゴルフ大会実行委員会が企画しています。

参加者らは「台風25号の影響で実施できるか心配だったけれど、みんな楽しんでくれて最高だった」と話し、優勝した浜村敦さんには、年間無料パスポート券とクリスタルトロフィーが贈呈されました。

また、同大会では今年もチャリティとして協力を参加者らに募り、童話や絵本を大方中央保育所と佐賀保育所へ寄贈しました。

そのほかにも、八木敦士プロによる「小学生スナッグゴルフ教室」



スナッグゴルフを楽しむ児童ら

も行われ、参加した拳ノ川小学校の児童らは歓声をあげながら楽しんでいました。